

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和4年4月25日（月）

### 2 確認箇所

3号機起動変圧器エリア周辺

### 3 確認項目

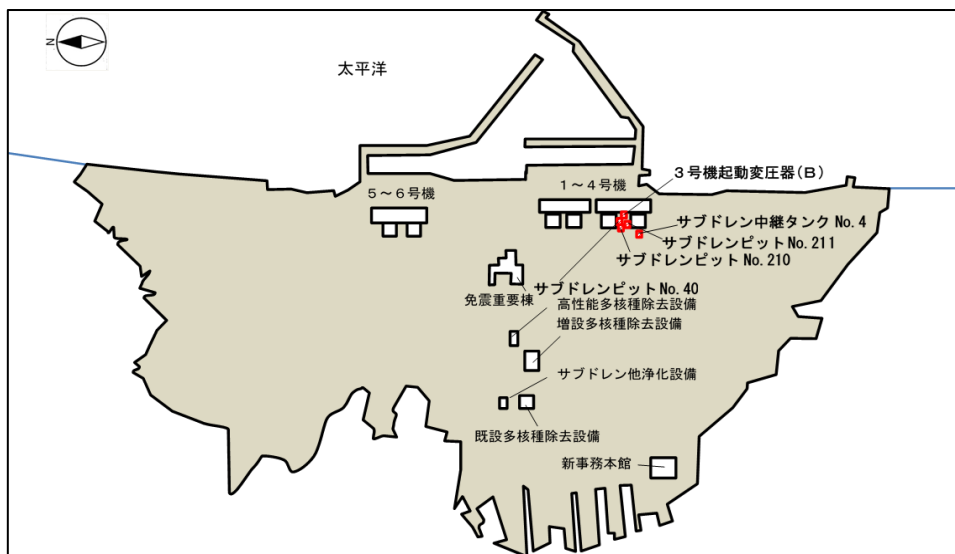
3号機起動変圧器（B）からの油漏れの状況

### 4 確認結果の概要

4月21日に東京電力が実施したパトロールにより、3号機起動変圧器（B）において、本体とラジエーター間の配管溶接部からPCBを含む絶縁油の漏えいが確認された。その後、拡大防止措置として漏えい箇所の養生や受け容器の設置がされていることから、現場の状況を確認した。（図1）

また、本件による影響を考慮し、変圧器周辺のサブドレンピット（8基）で汲み上げが停止されたことから、これらのサブドレンピットから汲み上げた水を収集しているサブドレン中継タンクNo.4ではサブドレン浄化装置への移送ポンプが停止されていた。その後、変圧器周辺のサブドレンピットの一つであるNo.40で油分が検出されたため、引き続きNo.40を含む3基のサブドレンピットでの汲み上げとサブドレン中継タンクNo.4からの移送が停止される見込みであることから、その状況を確認した。（図1）

- ・漏えい箇所は透明なシートとテープで養生されており、養生されたシート内には配管より漏れ出た油が溜まっていた。養生箇所の両端から油が1秒に数滴程度、滴下していたが、滴下した油を受けるためのペール缶が設置されており、拡大防止の措置が講じられていた。（写真1）
- ・漏えい箇所の近傍には監視カメラが設置されており、遠隔での監視が行われていた。（写真2）
- ・サブドレンピット（No.40、210、211）及びサブドレン中継タンクNo.4では目視で確認した範囲で外観に異常は見られず、また、サブドレン中継タンクNo.4の移送ポンプは引き続き停止したままの状態であった。（写真3）
- ・東京電力では、明日4月26日に変圧器の漏えい箇所をシール材と金属製バンドを用いて止油し、翌4月27日にサブドレンピットNo.40の油と水をポンプで汲み上げずるとしており、今後、変圧器からの抜油の検討やサブドレンピットNo.40から回収された油を含む水の詳細な分析を行うとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



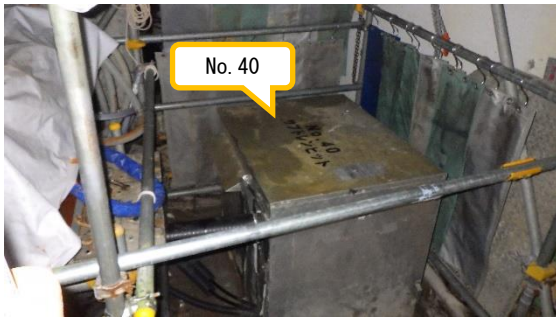
(写真1-1)  
3号機起動変圧器 (B) 周辺の状況



(写真1-2)  
漏えい箇所の状況



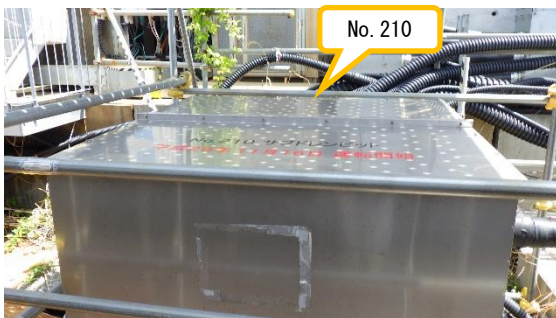
(写真2)  
遠隔での監視の状況



(写真3-1)  
サブドレンピットNo. 40の状況



(写真3-2)  
サブドレンピットNo. 211の状況



(写真3-3)  
サブドレンピットNo. 210の状況



(写真 3-4)  
サブドレン中継タンクNo. 4の状況



(写真 3-5)  
移送ポンプの電力管理用計器  
電流が0 Aを示している  
(ポンプ停止中)

#### 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。